

# 森のおくりもの7月



ニホンリス（リス科）



「クラスター」「オーバーシュート」「ロックダウン」など、今年に入ってからコロナ渦により、聞きなれない横文字が巷には溢れかえりました。「ソーシャルディスタンス」という言葉もその一つ。一般的には「社会的距離」とか「対人距離」と訳されることが多いですが、なんとも無機的に感じてしまいます。あるテレビ番組では「思いやりの距離」と言い換えていました。とても温かみのある素敵な表現なのですが、口に出して言うにはストレートすぎて、私にとっては気恥ずかしさを感じます。イベントやガイドウォークの際などに参加者同士の距離について皆様をお願いをする関係上、何かいい表現は無いかと考えていますが、ここは日本人らしく「気づかいの距離」というのはどうでしょうか？

【写真・文 近藤晋也】

## 森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

### 『 触らぬ神に祟りなし（さわらぬかみにたたりなし） 』

自然は楽しいばかりでなく、様々な危険もはらんでいます。出会う確率が低いクマよりも、身近に潜んでいて気を付けないといけない生物がいます。黒とオレンジ色が目立つ、ドクガという蛾の幼虫です。今年は目撃するのが多い気がします。この毛虫には長い毛とは別に0.1ミリの毒針の毛が600万本もあるらしく、この毒針毛にやられるとひどい痒みの皮膚炎が続きます。厄介なのは、直接触れなくても風で飛んだものや葉などに付着した毒針毛によってもやられるし、衣類に毒針毛が付くとそれを身に着ける度に発疹を起こすのです。各施設で除草などの作業後の被害報告を多く耳にします。私も3回ほどやられてしまいました。撮影の際やモミジイチゴをつまみ食いしたときに、藪をかき分けて入ったことが思い当たります。ただ見るだけなら何も起きなかったのに、美味しい実について手を伸ばしたばっかりに、ひどいことになってしまいました。

このような状況に『触らぬ神に祟りなし』が思い付きました。「物事に関係しなければ面倒なことに巻き込まれることはない。余計なことをしなければ災いを招かない。」という意味です。ここでいう神とは“祟り神”のことで、祟り神に関わらなければ祟りを受けることもないということが由来です。

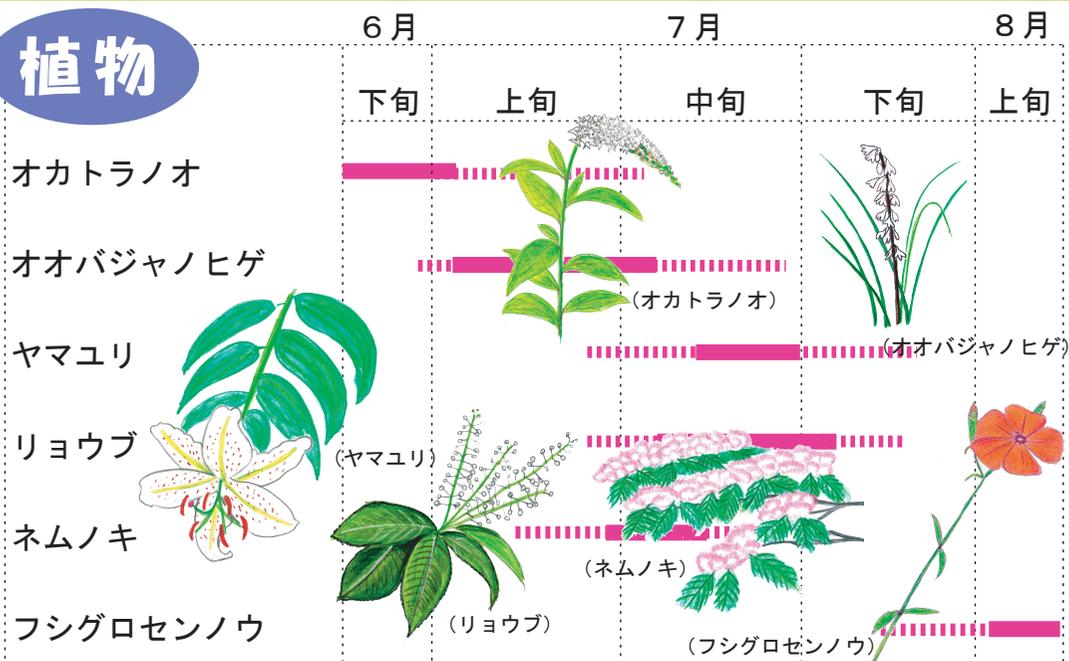
6～7月は幼虫の毒針毛が最も発達する時期で特に注意が必要ですが、茂みに近づかなければ被害を受ける可能性は低いでしょう。また、全ての毛虫が毒針を持っているのではなく、気を付ける必要があるのはごく一部です。

人間と自然との距離や関わり方が変化している中で、様々な問題が起こっています。ドクガは、人間がむやみに森へ踏み入って自然を荒らさないようにブロックしている守り神の役割なのかもしれません。【レンジャー：新田隆一】



# 7月の生物ごよみ

## 植物



5月20日にヨシの湿地周辺でシュレーゲルアオガエルの卵塊を見つけました。卵塊をひとつ持ち帰り飼育観察をしました。

5月26日 6匹ほど生まれ5月30日までに287匹が孵化しました。大きさは10mm弱で産まれてすぐは餌をまったく食べませんでした。

6月3日 すごい食欲になりました。このころになるとたくさんの餌を食べるため、すぐに水を汚します。水は毎日交換しました。餌は植物質の強いプレコ用の餌を与えました。

6月18日 後足が生え始めました。後ろ足は少しずつ大きくなり5本の指がしっかり見えるようになりました。このころから食欲が落ち始めてきました。

6月25日 前足が生え始めました。前足の生え方は後足とは違い、皮膚の下で形成され皮膚を破って一気に外に出ます。また生える順番があり、はじめに左前足がえら穴を突き破り一気に生え、その後、右前足が皮膚をつきやぶり生えます。これは日本のおたまじゃくしはすべて左側にえら穴があるため、その分左前足が早くなるのです。

6月26日 飼育ケース面を登る個体が出てきたので、砂利を入れていつでも上陸できるように傾斜を作ってあげました。このころになると45mmくらいまで成長しました。両足が生えるとエサは全く食べなくなりました。今後はこの中から数匹だけを残し、あとはヨシの湿地に戻す予定です。残った個体はセンターで生体展示をする予定なのでもうしばらくお待ちください。

【レンジャー：齋 正宏】

# 森の「おとしもの」



## 「嫌われ者の“歩く宝石”」

6月のはじめ森で小さな虫の死骸を拾いました（写真①）、よく見ると死骸でなく成虫になるため脱皮した殻で、陽にあたるとキラキラ輝いてきれいです。カメムシの仲間のアカスジキンカメムシの終齢幼虫のものでした（写真②）。

ところで【カメムシは好き？】と聞くと、たいてい「好きじゃない」とかえってきます。「え、どうして？」「きれいじゃないし」「それに臭い」

そう思っている人にぜひ会ってほしいカメムシです（写真③）。金属光沢の金緑色に淡い紅色のライン。そのメタリックな姿は“歩く宝石”なんて言われているとか。でも死んでしまうとこの輝きは失われてしまいます。臭い匂いで嫌われ者のカメムシですが、この子は乱暴につかんだりしないで、静かに、優しく手に乗せるとほとんど匂いは出しません（写真④）。

【レンジャー：木田秀幸】



写真①



写真② 下半分は笑い顔に見える？



写真③



写真④ でもカメムシには刺してくる種類もいるから、気をつけて！

# 森は糸



# 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって森として生きているんですね (\*\_\*)

カモシカは9月頃からオスとメスが相手を見つけ繁殖活動に入ります。その後220日程度の受胎期間の後、4月から6月頃に出産することが多いようです。生まれる子の数はほとんど1頭で、最も死亡率が高い、親離れするまでの1年半くらいを母親が子の面倒を見ます。えさの取り方や冬の過ごし方などをしっかり子に伝えて子孫を未来につないでいきます。今回は、カモシカ以外のちょっと変わった繁殖の方法を身につけた森の住人も紹介しましょう。(^^♪



6月の中旬、ヨシの湿地から木道を通り、ヤマグワの葉を食べていました。角がりっぽいですねえ。性別は不明です。子の姿はありませんでした。



6月の別の日に、であいの道を降りて右手の谷側で出会いました。こちらも成獣。左耳が切れてます。何があったのでしょうか。繁殖できたのでしょうか。



大きさが4cmぐらい。足にしま模様があるので子供のようです。触角が長く翅がないので、エダナナフシです。北に分布するこの仲間にはメスだけで繁殖する(単為生殖)ものがあるそうです。調べてみたいなあ!!



5月に咲いたヤマコウバシの花です。日本には雌花しかないといわれています。おしべがなく花粉ができません



6月中旬、ヤマコウバシに実がなっています。雌花だけで受粉もせず、どのようにして実ができたのでしょうか。また、この実には種子ができています。秋になって黒く実が熟したら種子を植えてみたいなあ。芽が出るのでしょうか。

森の住人が未来に子孫を残すための方法にはいろいろな姿があるのですね。ときにはメスだけで繁殖するなんてすごいですね。新しく誕生した命を温かく見守りたいですね。(^^♪

【レンジャー：菅原幸彦】

# 7月のイベント & お知らせ

## ◆小さな自然の世界をのぞく観察会

申込はこちら 



肉眼では見えないような小さな生きものなどを拡大して観察します。

【日時】7月18日(土) 10:00～12:00 【定員】15名

【持ち物】歩きやすい服装と靴、雨具、帽子、飲物、持っていればルーペ

【申込み】E-mail (taihakan\_moushikomi@sendai-green-association.jp) か電話で

住所・氏名・年齢・電話番号を7月14日(火)必着、抽選の上決定

## ◆夏の森の観察会

夏の森のあずまやでリスを定点観察します。

【日時】7月23日(祝) 10:00～11:30 【定員】10名

【持ち物】歩きやすい服装と靴、帽子、雨具、飲物、持っていれば双眼鏡

【申込み】7月8日(水)9時より電話受付にて先着順

## ◆わくわく夜の森たんけん!

夜間に観察できる生物や自然現象を解説しながら園内をガイドします。

【日時】7月25日(土) 19:00～20:30

【持ち物】雨具、歩きやすい服装と靴、帽子、懐中電灯

【定員】20名 【申込み】7月9日(木)9時より電話受付にて先着順

## ◆新型コロナウイルスの感染拡大や天候の急変等でイベント中止・短縮の場合があります。

毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

開催予定: 5日, 12日, 19日, 26日

開催時間: 10:00～11:30, 13:30～15:00

今月のテーマは「夏の森の楽しみ」

### 7月の休館日

6日(月)、  
13日(月)、  
20日(月)、  
27日(月)



#### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘庫行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地 山田自由ヶ丘經由山田自由ヶ丘ニュータウン行」)  
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分

#### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

#### ♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、  
「森のおくりもの」バックナンバーは  
Webで!

2020年7月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>